

令和7年度
教育課程研究協議会【中学校社会】

<全体主題>
指導と評価の一体化を核とした
授業改善・学習改善の在り方

美濃・可茂教育事務所

1

1 学習評価の基本的な考え方

3

研修内容

【前半】 13:10~14:30

- 1 学習評価の基本的な考え方
- 2 指導と評価の一体化の具体
- 3 ICTを活用した指導と評価の工夫

【後半】 14:40~16:00

グループ協議（ワークショップ等）

2

1 学習評価の基本的な考え方

「評価」を行うというイメージ

- ・テストの採点
- ・プリントの評価
- ・作品の評価

- ・授業中の発言、読み取りの姿
- ・実技の評価



評定

4

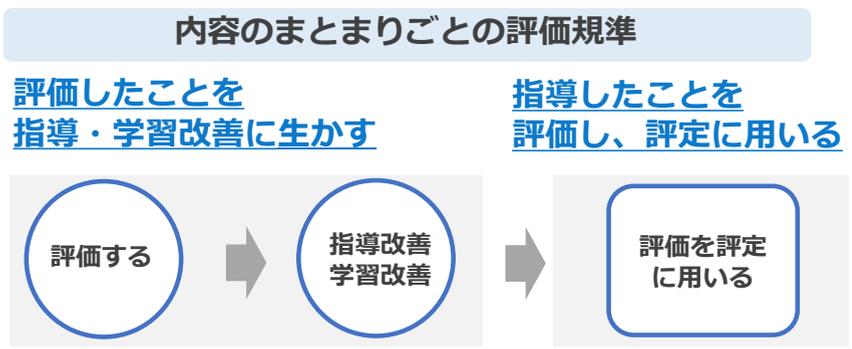
1 学習評価の基本的な考え方

評価の役割 指導と評価の一体化

生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、**指導の改善や学習意欲の向上**を図り、**資質・能力の育成に生かす**ようにすること。

中学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 総則編

1 学習評価の基本的な考え方



参考：国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」

1 学習評価の基本的な考え方

生きて働く「**知識及び技能**」の習得

未知の状況にも対応できる「**思考力、判断力、表現力等**」の育成

学びを人生や社会に生かそうとする「**学びに向かう力、人間性等**」の涵養

↓

一人一人の生徒に資質・能力が育ったのか。

指導と評価の一体化

1 学習評価の基本的な考え方

内容のまとまりごとの評価規準

- 学習指導要領の目標に照らして観点別学習状況の評価を行うに当たり、生徒が資質・能力を身に付けた状況を表すために、「2 内容」の記載事項の文末を「～すること」から「～している」と変換したもの

中学校学習指導要領解説 社会編 p37、38

1 学習評価の基本的な考え方

内容のまとめりごとの評価規準

- A 世界と日本の地域構成（大項目）
 (1) 地域構成（中項目）
 次の①と②の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識を身に付けること。
 (ア) 緯度と経度、大陸と海洋の分布、～中略～を大観し**理解**すること。
 (イ) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、～中略～を大観し**理解**すること。

内容の記載事項の文末を「～している」と変換

1 学習評価の基本的な考え方

内容のまとめりごとの評価規準

- A 世界と日本の地域構成（大項目）
 (1) 地域構成（中項目）
 次の①と②の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識を身に付けること。
 (ア) 緯度と経度、大陸と海洋の分布、～中略～を大観し**理解**している。
 (イ) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、～中略～を大観し**理解**している。

1 学習評価の基本的な考え方

内容のまとめり

- | | |
|---|--|
| <p>【地理的分野】ABC：大項目 (1)(2)(3)(4)：中項目</p> <p>A 世界と日本の地域構成 (1) 地域構成
 B 世界の様々な地域 (1) 世界各地の人々の生活と環境
 B 世界の様々な地域 (2) 世界の諸地域
 C 日本の様々な地域 (1) 地域調査の手法
 C 日本の様々な地域 (2) 日本の地域的特色と地域区分
 C 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域
 C 日本の様々な地域 (4) 地域の在り方</p> <p>【歴史的分野】ABC：大項目 (1)(2)(3)：中項目</p> <p>A 歴史との対話 (1) 私たちと歴史
 A 歴史との対話 (2) 身近な地域の歴史
 B 近世までの日本とアジア (1) 古代までの日本
 B 近世までの日本とアジア (2) 中世の日本
 B 近世までの日本とアジア (3) 近世の日本
 C 近現代の日本と世界 (1) 近代の日本と世界
 C 近現代の日本と世界 (2) 現代の日本と世界</p> | <p>【公民的分野】ABCD：大項目 (1)(2)：中項目</p> <p>A 私たちと現代社会 (1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色
 A 私たちと現代社会 (2) 現代社会を捉える枠組み
 B 私たちと経済 (1) 市場の働きと経済
 B 私たちと経済 (2) 国民の生活と政府の役割
 C 私たちと政治 (1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則
 C 私たちと政治 (2) 民主政治と政治参加
 D 私たちと国際社会の諸課題 (1) 世界平和と人類の福祉の増大
 D 私たちと国際社会の諸課題 (2) よりよい社会を目指して</p> |
|---|--|

参考：国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」

2 指導と評価の一体化の具体

2 指導と評価の一体化の具体

POINT いつ、どんな評価をするかを計画する

内容のまとめりごとの評価規準

評価したことを
指導・学習改善に生かす

指導したことを
評価し、評定に用いる



学習指導要領の記載（指導事項）

13

2 指導と評価の一体化の具体

1 単元の目標を作成する
(学習指導要領解説等を踏まえ作成)

2 単元の評価規準を作成する

3 「指導と評価の計画」を作成する

授業を行う

4 観点ごとに総括する

- ① 1、2を踏まえて、**評価場面**や**評価方法**を計画する。
- ② どのような**評価資料**をもとに評価するかを計画する。
(生徒の反応、ワークシート等)
- ③ **努力を要する状況 (C)**への**手立て**等を考える。

3に沿って評価を行い、**教師の指導改善**や**生徒自身の学習改善**につなげる。

※国立教育政策研究所 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を基に作成

14

2 指導と評価の一体化の具体

POINT いつ、どんな評価をするかを計画する

内容のまとめりごとに評価する

- …評価を指導・学習改善に生かす
- …評価を評定に用いる

	導入		第一次		第二次		まとめ	
時	1	2	3	4	5	6	7	8
知識・技能		●	●		●		○	
思考・判断・表現				●○		●○		○
主体的に学習に取り組む態度	●○			●				●○

15

2 指導と評価の一体化の具体

知識・技能

地理的分野 C 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域
【小単元】中国・四国地方～人口や都市・村落を中核として～
小単元の課題：人口減少が進み、人口の偏在がみられる中で、地域に応じた地域づくりの取組が、どのように進められているのか

【評価規準】(第5時：小単元のまとめ)
中国・四国地方の人口偏在や、持続可能な地域づくりの取組と、それに関連する自然環境や産業の様子、課題を理解している。
【単元プリントの記述】

【おおむね満足できる状況 (B) 単元プリント】

※国立教育政策研究所 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を基に作成

16

2 指導と評価の一体化の具体

知識・技能

地理的分野 C 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域

【評価規準 例①】

提示された資料を基に、そこから読み取った情報を適切に文章化している。

〔单元プリントの記述〕

内容のまとまりの前半：指導・学習改善につなげる評価

【評価規準 例②】

自身が収集した資料を基に、そこから読み取った情報を、文章と共に適切にグラフ化、図表化している。

〔单元プリントの記述〕

内容のまとまりの後半：評定に用いる評価

※国立教育政策研究所 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を基に作成

17

2 指導と評価の一体化の具体

思考・判断・表現

公民的分野 C 私たちと政治 (2) 民主政治と政治参加
本時の課題：「私たちはどのように政治に関わるとよいのだろうか。」

【評価規準】 (第一次)

対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と選挙との関連について多面的・多角的に考察し、分かりやすく表現している。〔ノートの記述〕

【おおむね満足できる状況 (B) のノート】

※国立教育政策研究所 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を基に作成

19

2 指導と評価の一体化の具体

知識・技能

地理的分野 C 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域

おおむね満足できる状況 (B) にするための指導 (例)

【单元名】第2学年「近畿地方」
資料を読み取ることが苦手な生徒へ
教師が働きかける場面

18

2 指導と評価の一体化の具体

思考・判断・表現

地理的分野 C 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域

单元 (小单元も含む) の出口の生徒の姿 (例)

【单元名】第2学年「中国・四国地方」
生徒が自分の考えの根拠を明確にしてまとめる姿

20

2 指導と評価の一体化の具体

主体的に学習に取り組む態度

歴史的分野 B 近世までの日本とアジア (3) 近世の日本
【小単元2】 江戸幕府の成立と対外関係

【評価規準】 (内容のまとめり)

- ・近世の日本について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
- ・学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

内容のまとめりの課題「近世の世の中はどのように変化していったのか」

※国立教育政策研究所 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を基に作成

21

2 指導と評価の一体化の具体

主体的に学習に取り組む態度

内容のまとめりの課題「近世の世の中はどのように変化していったのか」

生徒B

単元の最初の予想では、武士が武力をもって世の中を治めていったらだろうと予想していた。江戸幕府ができて、武士が世の中を治めたけど、その方法はいろいろあった。

※国立教育政策研究所 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を基に作成

23

2 指導と評価の一体化の具体

主体的に学習に取り組む態度

内容のまとめりの課題「近世の世の中はどのように変化していったのか」

内容のまとめり導入時の予想

- ・とても強い武士が全国を支配したのではないか。
- ・武士が支配する世の中から変化したのではないか。
- ・世の中を支配する仕組みが変わったのではないか

生徒B

単元の最初の予想では、武士が武力をもって世の中を治めていったらだろうと予想していた。江戸幕府ができて、武士が世の中を治めたけど、その方法はいろいろあった。

※国立教育政策研究所 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を基に作成

22

2 指導と評価の一体化の具体

主体的に学習に取り組む態度

地理的分野 C 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域

学習課題づくり (例)

【単元名】第2学年「中国・四国地方」

生徒とともにつくる学習課題

24

2 指導と評価の一体化の具体

教師は、評価規準に照らして、生徒の学習の過程や成果を見取り、授業の中で**価値付ける**（＝評価を即時的に生徒にフィードバックする）

思考方法	教師による価値付けの内容（例）
具体	「具体例を挙げて分かりやすく説明することができましたね。」
比較	「複数の資料を比べて共通点（相違点）を見つけることができましたね。」
分類	「いろいろな考えを視点ごとに分類しているので、分かりやすいですね。」
関連	「複数の資料（既習内容、生活経験等）とつなげて考えることができましたね。」
意味	「～の理由（原因、目的等）について、事実を基に考えることができましたね。」
仮定	「もし～ならば…だろうと、予測して考えることができましたね。」
多面	「自然環境と産業だけでなく、歴史的な側面からも考えることができましたね。」
多角	「消費者だけでなく、生産者の立場からも考えることができましたね。」
総合	「話し合いを踏まえ、キーワードを使ってまとめることができましたね。」

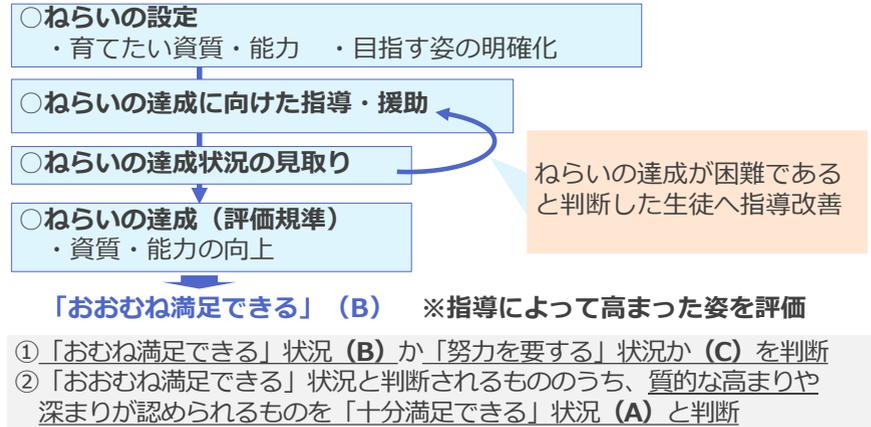
※岐阜県教育委員会 社会科「授業づくりスライド」価値づけ・助言より

25

3 ICTを活用した指導と評価の工夫

27

2 指導と評価の一体化の具体



26

3 ICTを活用した指導と評価の工夫



28

3 ICTを活用した指導と評価の工夫

① 診断的評価 → ② 形成的評価 → ③ 総括的評価

○前もって生徒の実態を把握し、それに合わせた指導計画を立てるための評価。

アンケート機能で調査



- ・3年〇組の多くの家庭がA店で買い物をしているから、題材として取り扱ってみよう。
- ・B店で買い物をしている家庭もあるな。消費者の多様なニーズをとらえるためにも、なぜB店で買い物をするか聞いてみよう。

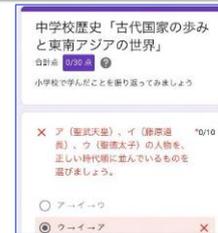
29

3 ICTを活用した指導と評価の工夫

① 診断的評価 → ② 形成的評価 → ③ 総括的評価

○前もって生徒の実態を把握し、それに合わせた指導計画を立てるための評価。

小テストの実施



- ・聖徳太子、聖武天皇、藤原道長らの行った政治について復習する必要があるな。
- ・小学校での学習内容の単なる繰り返しにならないよう、当時の日本が律令国家として形づくられていったことを大きく捉えられるようにしよう。

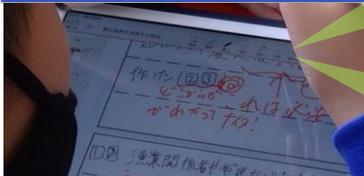
30

3 ICTを活用した指導と評価の工夫

① 診断的評価 → ② 形成的評価 → ③ 総括的評価

○単元を通して、授業での生徒の学習状況を見取り、予め立てた指導計画の修正を図りながら、指導改善につなげる評価。

協働学習支援ツール「提出箱」の活用



- 【即時的な価値付けの例】
- ・課題につなげて考えることができたね。
 - ・2つの資料の共通点を見つけているね。
 - ・違う立場からも考えることができたね。

- 【授業後の学習状況の把握の例】
- ・Aさんは〇〇についてもう少し理解しておくといいな。次時の導入で簡単に復習しよう。

31

3 ICTを活用した指導と評価の工夫

① 診断的評価 → ② 形成的評価 → ③ 総括的評価

◎社会的な見方・考え方を働かせ、「個別最適な学び」「協働的な学び」をするためのICT活用

<活用時のポイント>

- ・生徒が自ら資料を選択できるようにする。
- ・複数の資料の比較・関連・総合を図る。
- ・事実の読み取りと学習課題への考察を明確にする。



端末に複数の資料を送付

32

3 ICTを活用した指導と評価の工夫

① 診断的評価

② 形成的評価

③ 総括的評価

◎社会的な見方・考え方を働かせ、「個別最適な学び」「協働的な学び」をするためのICT活用



インターネットを用いて情報収集

<活用時のポイント>

- ・教師が学習課題に関連するWebサイトをあらかじめ調べておき、学習の中で活用できるようにしておく。
- ・情報の出典を確認し、客観性の高い情報を扱う。
- ・著作権の取り扱いや情報モラルを確実に理解しておく。

33

3 ICTを活用した指導と評価の工夫

① 診断的評価

② 形成的評価

③ 総括的評価

◎社会的な見方・考え方を働かせ、「個別最適な学び」「協働的な学び」をするためのICT活用



思考ツール等を用いて情報や思考を端末上で整理

<活用時のポイント>

- ・生徒自身が視点を立てて情報や考えを整理する。
- ・資料等から読み取ったことを整理する場合と考察したことを整理する場合を区別する。

34

3 ICTを活用した指導と評価の工夫

① 診断的評価

② 形成的評価

③ 総括的評価

◎社会的な見方・考え方を働かせ、「個別最適な学び」「協働的な学び」をするためのICT活用



共有機能を用いて協働的な追究

<活用時のポイント>

- ・仲間とともに共通の課題に向けて、ICT端末の画面を共有しながら共同編集する。

35

3 ICTを活用した指導と評価の工夫

① 診断的評価

② 形成的評価

③ 総括的評価

◎社会的な見方・考え方を働かせ、「個別最適な学び」「協働的な学び」をするためのICT活用



一覧表示で考えの共有

<活用時のポイント>

- ・仲間が気付いたことや考えたことと比べる。
- ・仲間の問い（なぜ、どうしたら）の答えを見出す活動を行う。

36

3 ICTを活用した指導と評価の工夫

① 診断的評価

② 形成的評価

③ 総括的評価

○単元の学習が終わったタイミングで、最終的な学習到達度を判断する評価

蓄積した学びをアプリ等を用いて表現



【総括的な評価の例】

・当初は～と考えていたAさんだったが、単元末には～と考えている。これは思考・判断・表現のBの評価規準を満たしていると言えるので、本単元の思考・判断・表現の評価をBとする。

37

ICTの活用

教師の指導・援助

一人一人の生徒に社会科の力を付ける活用

生徒の学び

個別最適な学び・協働的な学びを支える活用

○社会科で目指す資質・能力の育成

○指導と評価の一体化

(教師の指導改善)

39

3 ICTを活用した指導と評価の工夫

① 診断的評価

② 形成的評価

③ 総括的評価



指導・学習改善に生かす評価

評価に用いる評価

38

ICTの活用が進んでも

地理的分野の目標

(1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

最も重要な役割を果たしているのが地図である。現代のように地域間の交流の盛んな時代においては、社会的事象を位置や空間的な広がりなどを考慮して地図上で捉えることは効果的であり大切である。また、地域の変容が激しくなっている現代では、新旧の地図を比較し関連付ける学習は、地域の変容の軌跡を捉え、地域の課題や将来像などについて考える上でも大切である。



40

【参考資料】社会科授業づくりスライド

岐阜県総合教育センターHP

↓
関係資料

↓
各教科等

↓
社会・地歴・公民

↓
研修・授業改善関係

↓
社会科授業づくりスライド

ホーム 学習指導要領 研修・授業改善関係 教材・参考資料等 成果 links

研修・授業改善関係

社会科授業づくりスライド

- ・ [チラシ](#)
- ・ [問題解決的な学習](#)
- ・ [教材研究の進め方](#)
- ・ [単元の構想](#)
- ・ [指導と評価の一体化](#)
- ・ [学習課題の在り方](#)
- ・ [見直しと振り返り](#)
- ・ [資料の活用の仕方](#)
- ・ [ICTの活用](#)
- ・ [導入の進め方](#)
- ・ [疑問の在り方](#)
- ・ [話し合い活動の在り方](#)
- ・ [教科書の使い方](#)
- ・ [価値付け・助言](#)

41

グループ協議（ワークショップ）について

協議Ⅰ 指導案&授業記録から読み解く「指導と評価の一体化」を図った教師の働きかけ

協議Ⅱ 9月からの実践に生かす「指導と評価の一体化」を図った授業づくり

42

諸連絡（中学校）

下記URLもしくは二次元コードから
事後アンケートにお答えください。



<https://logoform.jp/form/T8mB/1128084>

ご回答いただいた方から終了となります。
ありがとうございました。



43